

九年正月十日禪定寺に於いて寂した。年七十七。

ケツシヨ 關所 關所は藩政の時死刑又は疵附追放の附加刑であつた。犯人の士人なる時は、家屋敷を普請會所に没收し、町人なる時は町方に下附する。又百姓なる時は家屋敷具を居村に下附し、土地は改作奉行之を處分するも、頭振は土地を有せぬが故に、家のみを下附する。犯人の金銀諸道具は公事場に没收するが、若し親類りなる時は、父子の財産を區別し得ぬから、天和元年之を没收せざることとし、犯人の妻及び娘の衣類諸道具も、元祿十三年除外することに定めた。犯人債權を有する時は、回收の上没收し、債務あれば資産中米錢の現在する限に於いて辨償するも、諸道具の賣却代に及ぶことは能はぬ。質商の關所は、元祿四年質物を元錢にて本主に還さしめ、流質物のみ没收することとした。寺院の住持死刑に處せられ、寺院の破却せられた時の處分は、從來一定して居なかつたが、天明五年寺院と佛具とを頭寺に與へ、殘餘の諸道具を關所することにした。疵附追放ではなく、單に追放に處せられた士人の關所は、時々年寄中の議に附することとせられ、農民の場合には、家屋敷・農具を没收して入百姓に與へるが、その他の動産に及ばなかつた。

ある。春桂院は前田利家の女幸姫で、前田長種の室である。ケツシヨウジアゲチマチ 月照寺上地町 享和三年幕府に進達した金澤町名附に、六斗林町月照寺上地町とあつて、此の頃は六斗林の小名に呼んだが、今其の名が絶えた。月照寺の前の所在地附近であらう。

本如來寺町に移り、萬治元年更に油木山蓮昌寺跡の今の地に移つた。ケツセンリヨウイン 月泉良印 能登の人、藤原氏。幼にして教院に投じ、後衣を更へて曹洞に入り、總持寺の峨山紹順に謁して開悟した。正平十六年夏峨山の命により能登の正法寺に住し、應永七年二月二十三日八十二歳を以て寂。法嗣には無等良雄・笑顔慧忻・通海良義・巨泉長智・古山良空・海榮元香・大應玄徹・虎溪良乳があつた。

宣義著。著者の庶物類纂が大部のものであるから容易に完成し難いので、その奇品のみを集録して、早く上梓を謀つたものといふ。正徳四年室直清の序文がある。ゲノミツ 夏の水 石川郡福留に在る。寶永誌に、此の村領の内往還道の傍に、夏の水といふ清泉があり、夏の間瀬に流出るからこの名がある。又同所に觀音の小社があると記する。

ケツシヨダイハンニヤキヨウ 血書大般若經 羽咋郡白瀬豐財院に存するもので、月潤義光の發願によつて成つたものである。月潤は貞享二年四月から同寺に於いて之を初め、元祿七年七月越中氷見の光禪寺に移つて、同九年十一月までに三百一巻までを血寫した。後光瑞本端その志を繼ぎ、元祿十六年正月から寶永六年五月までに、第三百二卷から第三百十八卷に及び、又享保五年に大仙は第三百十九卷・第三百三十卷・第三百三十一卷を、新志は第三百二十卷、第三百二十二卷・第三百二十四卷・第三百二十六卷・第三百二十八卷を、懸覺は第三百二十一卷・第三百二十三卷・第三百二十五卷・第三百二十七卷・第三百二十九卷を血誓し、その後漸く中絶したが、月潤四世の法孫規外龜長は、元文二年二月又第三百三十二卷に筆を起し、寛保三年豐財院十七代に歸り、延享元年永平寺に瑞世し、二年金澤の鶴林寺に移つても初志を棄てず、三年五月に至つて第六百卷を終へた。是に於いて同年八月慶讃の爲の大法會が豐財院に行はれた。

ケツシンジ 月心寺 金澤高道新町に在つて、光岩山と號し、曹洞宗に屬する。慶安三年卯辰山下に創立し、寶圓寺七代傑外雲英を開山とし、二世龍澤を寺主とした。明暦元年

月城禪師金龍(天徳院)語録と同黃龍(猷珠寺)語録とを合綴したもの。初のは侍者元曠・元機・元實等編録とし、後の元満・元曠・元道等編録とする。ゲツパドウイン 月坡道印 曹洞宗の僧。老臥佛又は臥雲叟と號する。初め竹龍達和尚に依つて業を受け、後黃檗の木庵に參して法を究めた。寛文四年江州比良山獅子谷に住し、七年關山琵琶苑に歸り、十年十一月前田綱紀の請に依り加賀の猷珠寺に入つて、臨濟を改めて曹洞とし、中興の祖といはれ、次いで水戸の徳川光圀に聘せられて岱宗寺を齎し、天和元年來りて暫く天徳院三代に住した。月坡詩文を能くし、月坡集・江湖唱和集がある。享保元年十月十三日寂。

ゲハクサン 下白山 ↓シモシラヤマ 下白山。ゲバマツリ 下馬祭 金澤天徳院の下馬腰掛所があつた所を下馬先といひ、もと天徳院の鎮守白山の祠があつた。其の祭を下馬の祭と稱し、踊を立て、甚だ繁昌したが、明治元年神佛混淆禁止の後鎮守社を廢せられ、下馬祭も自ら止んだ。下馬の踊は九月十八日から月末に及び、『下馬の踊をどらぬものは白の目立か番太郎か』とうたはれた程有名なものであつた。ケヒジンジャリヨウ 氣比神社領 越前氣比太神宮の社領として、石川郡標部保のあつたことは、建曆二年九月の文獻によつて知られる。

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻

ケツモウキヨベツシユウ 結鬘屋別集 稻